

日本共産党区議会議員
Japanese Communist Party

安藤たい作

区政報告 ニュース 第29号

東五反田二丁目地区再開発の住民説明会に参加 えっ？6月からの工事着工なのに 近隣住民説明会の開催は1週間前！？



私の配属委員会が決まりました。常設の常任委員会は区民委員会、必要に応じて設置される特別委員会は街づくり特別委員会です。それぞれ任期は一年。格差と貧困、将来不安が広がり、区民不在の区政運営への怒りが沸騰する中、与えられた責務の重さを感じます。



漫画：安藤たい作

隣のボウリング場跡地の開発では「五反田・品川環境を守る会」が発足、署名活動を行っています。4月には区長陳情も行いました。メンバーはいずれも古くから五反田地域に住まれていた方々。昨年从今年にかけて共産党が行った区政アンケートには「超高層はいらない」との声が多数寄せられ、環境に対する関心が高まっているのも特徴の一つでした。開発業者が事実上区の応援を受け住民不在で巨大開発を進めることは許されません。「地域環境守れ」の一点で力を合わせましょう。

「環境守る会」が発足、署名運動も

説明会は条例に基づき、建築物の高さの2倍の半径内の地域住民を対象に開かれたもので、三日に分けて開催。私は一回目の5月23日に参加、約150人の参加者で会場の大崎労働会館の大会議室は満杯。説明後の質疑にも次々と手が挙がりました。
三棟の建築物のうち最大の高さは44階建て・152M、区内で最高の高さになります。工事着工を6月に予定しているながら本説明会は5月の下旬過ぎの開催。はじめからまともな意見が噴出。その他「今回を皮切りに右へ揃えて超高層を作られることが不安。高い壁・刑務所の中で住むような気持ち」「協定書を結んでから着工してほしい」「風害被害を甘く見ているのではないか」等の質問が出ましたが主催者側は「地域にそぐう建物になると確信している」「協定書締結はやぶさかでないが同時並行で進めさせて欲しい」と回答。「理解を賜りたい」と繰り返しました。
「まだ続けてもいいぞ」と声がかかると、主催者側は「会場の都合」を理由に8時半で説明会の閉会を宣言。調べてみると会場の使用時間は9時半まで。釈然としません。

「高い刑務所の壁の中で住むようだ」

私、安藤の担当地域は「都市再生」大型開発のプロジェクトが目白押しです。古くは大崎グレートシティ、今年はじめに竣工した超高層ビル三棟の大崎東口第三地区の他、大崎西口中地区（解体工事中）、同南地区、北品川5丁目（ともに都市計画決定に向け進行中）等です。巨額の税金を投入したあげく、古くからの地域住民の意見を聞かずに進められることがほとんど。しかも風害や超高層の建物による日照権侵害等、地域に深刻な環境被害ももたらします。今回私は、昨年開校した日野学園の周辺地域にあたる東五反田2丁目第二地区の事業説明会に参加してまいりました。

安藤たい作プロフィール '74年 宮城県仙台市生まれ33歳。'97年 国立宮城教育大卒。'98年 漫画家を志し上京、漫画家アシスタント。'02年 青年誌奨励賞受賞。大崎駅西口駐輪場改善運動に取り組む。4年の派遣労働経験を経て'06年の品川区議会議員補欠選挙で初当選し2期目。趣味/漫画・イラストを描くこと、キャッチボール。

安藤たい作ニュース は、「品川区議会における政務調査費の交付に関する規定」で定める用途基準「広報・活動費」に基づき、政務調査費によって発行されています。